

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

『無断転載禁止』

レジメン番号： CRC-112

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Cetuximab単剤 (weekly)	7日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	最小度	N Engl J Med 357: 2040-48, 2007

＜注意事項/備考＞

- ✓ Cmab：初回400mg/m²を生食500mLに溶解し2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を生食250mLに溶解し1時間かけて投与
 - ✓ Cmab投与後の経過観察時間について：経過によっては省略可（生食50mL 5分に変更）
 - ✓ 検査：定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
 - ✓ インフュージョンリアクション：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
 - ✓ ざ瘡様皮疹：比較的早期から生じる。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用

✓ 爪巣炎：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を

:»

—